

受験英語専門塾  
 SPEC  
<https://spec-coach.com>



# SPEC ENGLISH

オリエンテーション

はじめに

以下の英文を読んでください(制限時間4分)。

We have all likely either seen the impact of or been directly affected by Scotland's housing crisis. Across many of our cities and towns it is clear that levels of rough sleeping on the streets are on the rise – and we know that while it is the most visible form, rough sleeping is just the tip of the iceberg of homelessness in Scotland.

The truth is that budget cuts to local and national government, ongoing changes and reductions in social security payments for some of the most vulnerable in our society, combined with a stuttering supply of social housing across the country, means that homelessness is as much of a problem in Scotland today as it ever has been.

Homelessness can happen to anyone in Scotland and all too often it is chance, not choice, that leads to someone losing their home. Becoming homeless is a personal tragedy for everyone it affects. It has major implications on an individual's life expectancy, health, employability, education and wider wellbeing - to say nothing of the moral failing it represents for Scotland as a progressive nation. We are one of the richest nations in the world, so why is it that we still cannot fulfill the most basic of needs and provide a home for everyone? It is shocking and shameful that homelessness still exists in Scotland today. What do the numbers tell us?

[https://scotland.shelter.org.uk/get\\_involved/campaigning/homelessness](https://scotland.shelter.org.uk/get_involved/campaigning/homelessness)

どうですか?しっかり理解できましたか?

医学部や難関大学では、このレベルの長文が出題されます。“単語の意味をつなぐ読み方”や“カッコやスラッシュを入れる読み方”で普段読んでいると、構造と内容を鮮明に理解するのは難しくありませんか?もちろん、先生や問題集の指示に忠実に従っているあなたを批判するつもりは全くありません。しかし、その読み方を続けて、このレベルの問題を“ピントがバシッと決まった写真”のように鮮やかに理解できるでしょうか?今の英語力で、この英文が読めれば問題ありません。自信を持って勉強を続けてください。反対に、手も足も出なかった、あなた。このレベルの英文を内容を完璧に理解し、スラスラと読みたくありませんか?SPEC-ENGLISHが目指すのは、どんな英文でも「速読で精読する」ことです。ネイティブスピーカーのように、文頭からピリオドまで流れるように正確に読み進めます。

やる気さえあれば、現在の偏差値なんて気にする必要はありません。必ず、読めるようになります。河合塾とSPECで、2万人を超える受験生を救ってきた実績がそれを裏付けます。それを実現するには、まず、基礎づくりです。第1段階として、いまから説明する「オリエンテーション」が最重要です。ここでは、「文のバランス」や「節と句の判別を中心に説明します。その次に「まずは、これから」「つぎは、これを」「その次は、これ」というように、段階的に踏んで基礎づくりをしていきます。このレベルを終えると、もちろん速読はまだ難しいですが、かつて経験したことのない“鮮明さ”で、どんな英語でも自力で読めるようになります。そんな成長イメージで、今から説明する“オリエンテーション”を聴いてください。

## POINT.1 バランスをとれ

### 01. 動詞に着目してください!

When I was a boy, I loved her because she was kind.  
V V V

1つの文(大文字からピリオドまで)に、動詞の数はいくつかあるか知っていますか?そうです。1つです。5文型(SV/SVC/SVO/SVOO/SVOC)を見てもらえればわかると思います。

次に、上記の例文を見て、動詞を数えてください。すると、全部で3つありますね。英文には動詞が1つしかないのに、3つあるということは、3つのうち2つは「ニセモノ動詞」になると考えてください。では、どの動詞がニセモノでしょうか?

### 02. 文のバランス

When I was a boy, I loved her because she was kind.  
V (V) V

① 読み始めて「接続詞」「関係詞」を通過したら、囲んでその上に♥をつけます。「♥をつけるなんてフザけてない?」

と思わないで聞いてくださいね。♥は、SPEC-ENGLISHでは、とても大切な記号です!

例文を見てください。whenは「接続詞」なので、その上に♥をつけます。次に、直後にある動詞wasの上にも♥をつけます。この接続詞と動詞の関係が重要です。whenは、さながら“マンツーマンディフェンス”ように、後ろのwasに張り付いて「ニセモノ動詞」であることを教えてくれます。このように接続詞・関係詞の直後にある動詞は、「ニセモノ動詞」になります。「ニセモノ動詞」を英文法では「従属節の動詞」と呼びます。

② 次にlovedに着目してください。lovedの前に接続詞・関係詞がありませんね。これが「本物動詞」です!英文法では“本物動詞”を「主節の動詞」と言います。主節の動詞は、丸で囲みⓅと表記します。こうして他の動詞と区別します。英文を理解する時、つねに“主節の動詞”を中心に考えていきます。初心者の方々は、まず“主節の動詞”を発見できるようになりましょう。lovedが本物動詞と分かったので、これ以降に現れる動詞は全て「ニセモノ動詞」になります。「ニセモノ動詞」の前には接続詞・関係詞が必要になります。

③ 次にbecauseを見てください。接続詞なので、囲んで♥をつけます。この文では2つ目の接続詞になるので♥2と表記します。そして、becauseの後ろに続くwasは「ニセモノ動詞」になります。wasの上にも♥2と文表記し、becauseとの相関関係を表します。

- ④ ここまでの話をまとめます。「接続詞」「関係詞」の後ろに続く動詞は、「ニセモノ動詞」です。動詞の前に「接続詞」「関係詞」がなければ、「主節の動詞」です。主節の動詞は、1つです。動詞が増えると比例して「接続詞」「関係詞」が必要になります。この状態を「バランスがとれている」と呼びます。英文を考える時、最も重要な決まりが、「文のバランス」です。
- ⑤ 残念ながら、時に「文のバランス」が崩れることがあります。動詞が5つあるのに、接続詞・関係詞が2つしかない!(本来4つ必要です)。動詞が3つあるのに、接続詞・関係詞がゼロ!(本来2つ必要です)といった感じの文です。主な理由として、関係代名詞、関係副詞、接続詞that, ifの省略などが考えられます。合格するためには“省略された語”を補う力が不可欠です。先生や講師に指摘されて初めて気づくのではなく、自力で省略を見つけたいと思いませんか? 思いますよね! そのためには、接続詞と動詞の相関関係に注意し、つねに文バランスを取る必要があります。そこで、この関係が成立しなければ、文のなかで“省略”が起きていることに気づけます。

### 読解ポイント

- 主節の動詞 → 動詞の前に接続詞・関係詞がない。
- 従属節の動詞 → 動詞の前に接続詞・関係詞がある。
- バランスがとれている → 主節の動詞は1つ。その他の動詞の前には接続詞・関係詞がある状態
- バランスが崩れている → 「動詞の数」と「接続詞の数」が合わない状態

### 練習

以下の英文において主節の動詞(本物の動詞)を指摘しなさい。

- ① The person who is developing good skills for good thinking will do a better job.
- ② When you are writing a letter, you must make sure that you are sending it.
- ③ The word, because we first use it in connection with our own mothers, carries many associations.
- ④ What goes through the mind of a human being is creative.
- ⑤ The fact that experience and knowledge are a necessary basis for good thinking helps us to understand why they so often go together.

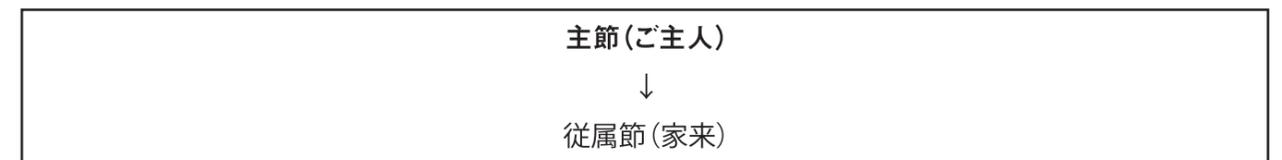
### 解説

- ① will doが主節の動詞です。is developingの前には関係詞whoがあるので「ニセモノ動詞」です。
- ② must make が主節の動詞です。are writingの前には接続詞whenがあるので「ニセモノ動詞」です。
- ③ carriesが主節の動詞です。useの前には接続詞becauseがあるので「ニセモノ動詞」です。
- ④ isが主節の動詞です。goesの前には関係詞whatがあるので「ニセモノ動詞」です。
- ⑤ helpsが主節の動詞です。areの前に接続詞thatがあり、またgoの前にも接続詞whyがあるので「ニセモノ動詞」です。

## POINT.2 主節と従属節の判別

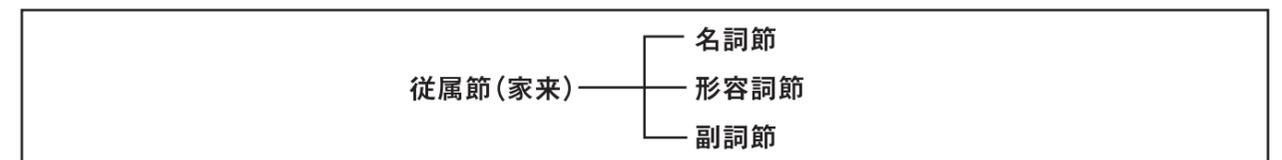
### 01. 主節と従属節のイメージ

ここでは「主節」と「従属節」について説明します。主節とは「主節の動詞(本物動詞)」を含む文です。従属節とは「従属節の動詞(ニセモノ動詞)」を含む文です。“主節”は1文に1つしかありません。従属節の数に制限はありません。



主節はご主人様。従属節は家来とイメージしてください。

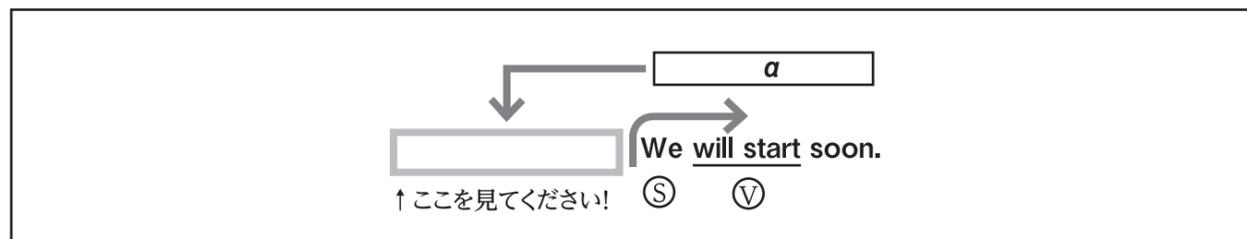
### 02. 従属節の仕事



- ① 「従属節」のはたらき
  - ▼従属節は、家来として“主節”のために仕事をします。
  - ▼従属節は、「名詞節」・「形容詞節」・「副詞節」のうちいずれかの仕事をします。
  - ▼同じ語でも、節によって意味が全く異なるので、注意を払う必要があります。
- ② 名詞節
  - ▼名詞節が、一番大切です。値段をつければ、10億円です。
  - ▼名詞節は、全体で主語(S)・目的語(O)・補語(C)のいずれかの働きをします。
  - ▼主語(S)・目的語(O)・補語(C)は、いわば“英語の主役”です。名詞節はその主役になるので、とても重要なのです!
- ③ 形容詞節
  - ▼形容詞節の値段は、10円です。主役であるS/O/Cにできないからです。
  - ▼また形容詞節は、“前の名詞”に係ります。
  - ▼形容詞節の別名を覚えてください。形容詞節とは、「関係代名詞」と「関係副詞」のことです。関係代名詞・関係副詞はともに“前の名詞”に係りますよね。その意味で形容詞の働きをしていると考えます。
- ④ 副詞節
  - ▼副詞節の値段は、10円です。S/O/Cにできないからです。
  - ▼副詞節は、名詞以外に掛かります。
  - ▼形容詞と副詞の違いについては、次のポイントを参考にしてください。



② この「何も書かれていない」領域に「従属節カタマリα」を投下します。



Weの前には何も書かれていないので、ここにS/O/Cは存在しません。よって、この位置に置かれた「従属節カタマリα」は、「名詞節」にできません。また、「何も書かれていない」ので「掛かる名詞」も存在しません。「掛かる名詞」がなければ、「従属節カタマリα」は「形容詞節」になり得ません。したがって、この「カタマリα」は「副詞節」になります。

③ 以上のことから「Sより前は副詞の世界」といえます。これはものすごく使える知識なので、ぜひ覚えてくださいね。

### 重要ポイント

Sより前は副詞の世界

## 05. 動詞について

① 「動詞」の種類について

動詞には「他動詞」と「自動詞」があります。「他動詞」は後ろに目的語(O)が必要です。目的語とは、「～を・に」の意味で用いる「名詞」を指します。例えば、「くつを」「かばんを」「彼女に」「馬に」といった感じです。「名詞」がポイントです。忘れないようにしてください。「自動詞」は後ろに目的語は不要です。

② 動詞の判別方法

次に「他動詞」と「自動詞」の判別について説明をします。文法問題を解くための「動詞の判別」は説明が大変ですが、readingにおける判別は簡単です。独断と偏見ですが(かなり正しい偏見ですが)、動詞の大半は他動詞です。98%は他動詞と思ってください。

SPECでは、まず全ての動詞は「他動詞」として扱います。ただし、後ろに目的語(名詞)がなければ「自動詞」になると考えます。

③ 次に文表記について説明します。

V →

SPEC-ENGLISHでは、動詞の後ろに矢印(→)を書きます。この矢印(→)は“目的語(名詞)を探す”という意味です。「どうして、こんなことするの?」と思いますよね。というのも、英語では動詞と目的語の間に修飾語が入りこみ、目

的語が動詞から遠く離れることがしばしばあります。無意識に読んでいては、この“離れた目的語”を見つけることはできません。入試本番で見逃さないようにするために、普段から動詞の後ろに矢印(→)を書いて、目的語(名詞)を探すクセをつけます。

学校や塾の先生から、『これが目的語だよ!』と指摘されて気づいても、意味がないですね。自力で見つけられなければ入試で使えません。

以上の理由で「動詞を通過したら、ズバッとOを探す!」は、とても大切です!

### 重要ポイント

動詞を通過したら、ズバッとOを探す!

④ 自動詞の文表記

目的語がない場合は、「自動詞」と判断します。以下のように矢印の先にバツを書いてください。「自動詞マーク」として覚えておいてください。

●自動詞マーク

V → ×

⑤ 例外の動詞

動詞は原則として「他動詞」扱いです。ただし、一部、例外があるので、ここではそれについて説明します。初心者の方々は、今は聴き流すくらいで構いません。例外は主に2つあります。まず「存在」「発生」「移動」の意味で用いる動詞です。これらの動詞は目的語を探してはいけません。原則としてSVの文型で用います。

1. He existed to make the people happy. (×)

Ⓢ Ⓥ → Ⓞ

2. He existed // to make the people happy. (○)

Ⓢ Ⓥ

上の例文を見てください。

existは「存在する」の意味を表すのでSVの文型で用います。よって、例1のようにexistedの後ろに目的語を探すのは間違いです。例2のように、existedの直後で文型を完結させます。また、人間の動作を表す動詞もSVの文型が多いので知っておいてください。

次の例外は、「状態」「変化」「感想」の意味で用いる動詞です。これらの動詞は、原則としてSVCの文型で用います。「存在」「発生」「移動」と「状態」「変化」「感想」の意味を表す動詞は目的語を探さない例外として認識しておきましょう。

⑥ さて、先ほど取り上げた例文をもう一度見てみましょう。

★節の判別をやってみよう

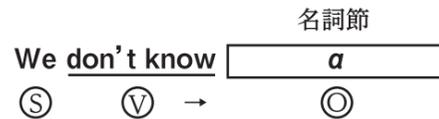
<p>【例01.】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">α</span>, we will start.  <span style="margin-left: 150px;">(S) (V)</span></p> <p>【例02.】 We don't know <span style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">α</span>  <span style="margin-left: 20px;">(S) (V)</span></p>
--

【例01.】を見てください。



“従属節カタマリα”はSより前にありますよね。覚えていますか?「Sより前は副詞の世界」です。したがって、“従属節カタマリα”は副詞節になります。

【例02.】を見てください。



knowに着目してください。「動詞を通過したら、ズバット目的語を探す!」はSPEC-ENGLISHの合言葉です。すると“従属節カタマリα”はdon't knowの目的語になるので、「名詞節」になります。

ifの名詞節は「...かどうか」の意味を表すので、「私たちは、彼ら来るかどうか分からない」と和訳します。

どうですか?わかりましたか?今は何となくわかっただけでも十分です。

練習問題をやりながら慣れていきましょう!

## POINT.3 準動詞兄弟

### 01. 準動詞兄弟

to V	名詞用法 「…すること」	形容詞用法 「…するA」	副詞用法 「目的・結果など」
V ing	名詞用法(動名詞) 「…すること」	形容詞用法 「…しているA」	副詞用法(分詞構文) 「時・理由など」
Vp.p.	×	形容詞用法 「…された(る)A」	副詞用法(分詞構文) 「時・理由など」

#### ① 準動詞とは

toV・Ving・Vp.p (過去分詞)の3つのカタチを準動詞とよびます。「準動詞」は「動詞」に近くて遠い感じです。「優勝」と「準優勝」の関係を考えてみてください。とても近いけれど、とても遠いんですよね。それと同じです。動詞に似ているけれど、動詞ではない。準動詞について、まずこのように認識してください。では準動詞の性質について説明していきます。

#### ② 準動詞の性格

準動詞(toV・Ving・Vp.p.)は、カタチこそ違いますが、性格はとても似ています。いってみれば「兄弟」みたいなものです。この「準動詞兄弟」を理解できるかどうかで、今後の英語人生が決まると言っても過言ではないくらいです。準動詞が分からない人は「アフリカゾウを見て、これはウナギだ」と言う人と同じくらい残念です。長文を読んでいる時、toVの意味が特定できなくてモヤモヤしたまま読み流したり、Vingを見て「動名詞かな?分詞構文かな?」と迷ったあげく、適当に読んでしまった経験はありませんか?正確な和訳が要求される入試でモヤモヤは困りますよね。スッキリと理解したいものです。そのために準動詞をキッチリ理解する必要があります。では、説明を始めます。

#### ③ to V

toV には「名詞用法」「形容詞用法」「副詞用法」があります。用法によって意味が異なります。

▼「名詞用法」は、「…すること」と和訳します。

▼「形容詞用法」は、前の名詞Aを修飾し「…するA」「…すべきA」「…するためのA」と和訳します。

▼「副詞用法」は、おもに「…するために」と和訳します。その他の訳例は、また後日説明します。

#### ④ Ving

Vingにも「名詞用法」「形容詞用法」「副詞用法」があります。どうですか?toVと似ているでしょう。「え?? Vingの名詞用法なんて聞いたことがないよ」と思うかもしれませんが、みなさんが学校で教わったことを、別の角度から見ているだけです。Vingの名詞用法とは、「動名詞」のことです。Vingの形容詞用法とは、Vingが名詞Aにかかり「…しているA」の意味で用いる形です。以下のような形を見たことがありますよね。これは「現在分詞」と呼ばれています。

a girl dancing on the stage 「舞台で踊っている女の子」

Ving の副詞用法とは、「分詞構文」のことです。おもに「時」「理由」の意味を表します。

⑤ Vp.p.

他の準動詞と異なり、Vp.p.には「名詞用法」がありません。ポイントなのでしっかり確認してください。Vp.p.の“形容詞用法”とはVp.p.が名詞Aを修飾し「…された(る)A」の意味で用いる形です。以下のような形を見たことがありますよね。

 a car made in Italy 「イタリアで作られた車」

Vp.p.の「副詞用法」とは、「分詞構文」のことです。おもに「…された(る)ので」「…された(る)時」と和訳します。

**注意** これまでに接続詞や主語を取り除くことが分詞構文だと教わっていませんか。それは“分詞構文の作り方”であって、“分詞構文”そのものではありません。「パスタの作り方」と「ほかほかのパスタ」が全く異なるのと同じです。分詞構文とはVing, Vp.p.が副詞的に用いられて「時」「理由」などの意味を表す形です。

## 02. 準動詞の用法：名詞用法・形容詞用法・副詞用法とは

① 意味が異なる

準動詞は、形が同じでも“用法”によって意味が異なります。ですから判別しなければ、正確な和訳ができません。準動詞の判別がマスターできれば、驚くほど正確に読めるようになります。では判別の方法を説明していきます。

② 節の判別と同じ

英語はとてもシンプルです。節の判別を思い出してください。

- ▼名詞節は、S/O/Cにできる。
  - ▼形容詞節は、“S/O/Cにできない”+“前の名詞にかかる”。
  - ▼副詞節は、“S/O/Cにできない”+“名詞にかからない”でしたね。
- これをそのまま準動詞の判別にも応用できます。

② 準動詞の判別方法

- ▼to V・Vingが、S/O/Cになれば、「名詞用法」になります。Vp.p.には「名詞用法」はありません。
- ▼to V・Ving・Vp.p.が、S/O/Cにできなくて、名詞にかかれば「形容詞用法」になります。
- ▼to V・Ving・Vp.p.が、S/O/Cにできなくて、名詞以外にかかれば「副詞用法」になります。

●まとめ

名詞用法……S/O/Cになる 形容詞用法……“S/O/Cにできない”+“前の名詞にかかる” 副詞用法……“S/O/Cにできない”+“名詞にかからない”
---

## 03. 用法の判別をしよう

① 以下の下線を引いた準動詞の判別をしてください。

【例01.】 Standing there is dangerous.

【例02.】 Standing there they did it.

【例03.】 The man standing there is Ken.

② 節の判別と同様に以下のようにカタマリαで考えるとわかりやすいです。

【例01.】 α is dangerous.

【例02.】 α they did it.

【例03.】 The man α is Ken.

“カタマリα”がS/O/Cになれば、「名詞用法」になります。

S/O/Cにできなければ、「形容詞用法」か「副詞用法」になります。

かかる名詞があれば、「形容詞用法」になります。

かかる名詞が無ければ、「副詞用法」になります。すると、以下のようになります

③ こんな感じになりますよ。

【例01.】名詞用法(動名詞)

α is dangerous.  
 (S) (V) (C)

“カタマリα”は(S)になるので、「名詞用法」になります。「～すること」と和訳します。

【例02.】副詞用法(分詞構文)

α they did it..  
 (S) (V) (C)

“カタマリα”は主語の前にあるので、「副詞用法(分詞構文)」になります。「時・理由」などの意味を表します。

【例03.】形容詞用法(現在分詞)

The man α is Ken.  
 (S) (V) (C)

“カタマリα”はS/O/Cにできないので、「名詞用法」ではありません。前にかかるべき「名詞」があるので、「形容詞用法」になります。

では、練習問題をやってみましょう。

練習

下線を引いたVingの用法を答えなさい。

- ① Walking in the morning is good for the health.
- ② Walking in the morning they saw the man.
- ③ The man walking in the park is a friend of mine.
- ④ We enjoyed playing volleyball on the beach.
- ⑤ Mike likes swimming.

解説

① “カタマリα”が主語になるので、名詞用法になります。

Walking in the morning is good for the health.  
 (S) (V) → (C)

② Sより前は、副詞の世界です。よって“カタマリα”は副詞用法(分詞構文)になります

Walking in the morning they saw the man.  
 (S) (V) → (C)

③ “カタマリα”はS/O/Cにできないので、名詞用法ではありません。前にかかる名詞 The man があるので、形容詞用法になります。

The man walking in the park is a friend of mine.  
 (S) (V) → (C)

④ enjoyは他動詞なので、αが目的語になります。よって名詞用法(動名詞)になります。

We enjoyed playing volleyball  
 (S) (V) → (C)

⑤ likeの後ろには目的語が続きます。よって名詞用法(動名詞)になります。

We like swimming  
 (S) (V) → (C)

練習

下線を引いた準動詞の用法を答えなさい。

- ① He was stupid to stay indoors on such a lovely day.
- ② I've decided to take part in the meeting.
- ③ He has no friend to support him.
- ④ He wanted too eagerly to pass the examination.
- ⑤ To hear him speak French, you would take him for a Frenchman.
- ⑥ Considering his ability we have to doubt if he did it by himself.
- ⑦ Written in English, the book is difficult to read.
- ⑧ The book written in English seems to me a little difficult.
- ⑨ The dog was running around the mannequin wearing a gorgeous fur coat.

解説

- ① He was stupid to stay indoors on such a lovely day.

He was stupid to stay indoors on such a lovely day.  
 (S) (V) → (C)

He was stupid. 「彼は愚かだった」の時点で文が成立し、“カタマリα”は、S/O/Cにできないので、名詞用法にはできません。また、stupidは形容詞なので、“カタマリα”の前にかかる名詞はありません。よって副詞用法になります。

- ② I've decided to take part in the meeting.

I've decided to take part in the meeting.  
 (S) (V) → (C)

「動詞を通過したらズバツとOを探します」“カタマリα”は、decidedの目的語になり、名詞用法になるとわかります。

- ③ He has no friend to support him.

He has no friend to support him.  
 (S) (V) → (C)

He has no friend 「彼には友達がいない」の時点で文が成立します。よって“カタマリα”は、S/O/Cにできないので「名詞用法」にできません。前にかかるべき名詞 friend があるので形容詞用法になります。